

令和5年度 社会福祉法人宏育会 事業報告

1. 基本方針

ウイズコロナの実践と新規お客様への積極的アプローチ。

2. 具体的取組について

- (1) コロナ風評に負けない組織を目指しました。コロナ事態 5 類移行され時折罹患する職員がいてその都度隔離対応には追われたが、世間的にも風評となることはなくなった。
- (2) お客様への安全安心サービスの実施については、ほぼ柔軟な受け入れができたように感じた。面接等も感染予防の観点は維持しつつ徐々に制限を緩めてお客様や家族からのクレーム等極力最小限に留めた。
- (3) BCP 作成の義務化に伴い有事発生時にも事業継続ができる発電機の設置を完了し、地域貢献にも一役買える施設を目指した。

令和5年度 特別養護老人ホームよっかいち諧朋苑 事業報告

一、基本方針

- 1、コロナウイルス感染症の予防及び拡大防止対応
- 2、コロナウイルス感染症収束後の新しい施設生活の構築
- 3、特養入居者様への介護サービス向上
- 4、安心・安全の食事提供及び嚥下機能維持への取り組み
- 5、機能訓練による特養入居者様の身体機能維持
- 6、看取り体制の充実・強化

二、具体的目標

- 1、共同生活に伴う、コロナウイルス感染症の蔓延防止の為、正しい医療知識の元、予防対策を務める。特養入居者様・職員へのコロナウイルス感染症ワクチン接種を円滑に進める。また、発症の際は、適切な医療の提供・関係機関との協議並びに拡大防止対応を図り、入居者様の安全を図る。

目標結果⇒令和5年度もコロナウイルス感染症蔓延防止対応。介護施設でのコロナの難しさに苦慮する。コロナ・クラスターが数回発生。感染対応を実施しながら、収束対応を実施する。生活の場である特養の更なる介護サービス向上に努めたい。令和6年4月より面会制限緩和を実施。

- 2、交流や接触・外出方法を新しい安全な形で提供して行きたい。コロナウイルス感染症により様々なものが中止となった。人が生活する上では、やはり人が必要である。人との交流なしに施設生活は出来ない。もう一度、安全で安心して提供できる交流や接触・外出方法を示したい。出来れば、賑やかな夏祭りを盛大に実施したい。

目標結果⇒安全な窓越し面会が実施出来た。定期的な面会により、家族はご入居者様と表情・声を感じることが出来た。一定の評価を得ることが出来た。また、看取り期を含め、施設が必要と判断した際には、直接面会を提供する事も出来ており、お家族様からの感謝の声も頂いている。今年度も一層、安全な面会方法を模索して行きたい。令和6年4月より面会制限緩和を実施。

- 3、特養入居者様を第一に考え、介護サービスの向上・変化対応に努めます。また、各部署のサービスの向上・統一を図り、職員の働きやすい職場構築にも努めます。また、各職員のスキルアップとして職員が参加しやすいよう研修会実施方法等も考慮し、参加率アップにも努めます。

目標結果⇒研修に関しては、人を集めず、レポート形式にしたことにより、安全

な研修を実施することが出来て、参加者数も多く参加する事が出来た。今年度も続けていきたい。介護サービスの向上・変化対応には ICT 活用を実施していきたい。高価な使いにくい道具より職員さんが使いやすく・手を出しやすい価格の道具を購入したい令和6年度には ICT 活用により、介護職員の負担軽減をしながら、ご入居者様へのより良い介護サービスを実施していきたい。職員が使いやすい機器を導入したい。

4、安心・安全の食事提供を実施します。嚥下機能維持への取り組みとして、口腔ケアへの取り組み強化に努めます。

目標結果⇒安心・安全の食事提供が出来た。特養入居者様の食サービス向上に努めたい。食事に関するあらゆるものが値上がりしている。財政面での問題解決を実施していきたい。必要であれば、価格値上げも検討していく。

5、理学療法士、看護師、介護支援専門員、介護職員を中心に生活動作から機能維持訓練までの入居ニーズに添った具体的な計画作成を実行し、利用者様の身体機能の維持に努めます。

目標結果⇒具体的な計画作成と実行は出来た。実行（利用者様の身体機能の維持）の向上に努めたいしていきたい。

6、特養入居者様・入居者家族と関わりを密にし、医師・看護師・介護職員等との連携を通じてチーム全体で終末期（看取り体制）を支えます。

目標結果⇒医師・看護師・介護支援専門員・介護職員等との連携を通じてチーム全体で終末期（看取り体制）を支援しました。ご入居者様及びご家族様に寄り添い対応しました。

三、令和5度 収入報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期		
従来型予算	15,200,000	15,269,000	15,200,000	15,269,000	15,269,000	15,200,000	91,407,000	単位（円）	
従来型実績	13,398,344	14,635,598	13,979,479	14,599,105	16,209,907	15,383,834	88,206,267		
ユニット型予算	32,508,000	32,698,000	32,508,000	32,698,000	32,698,000	32,508,000	195,618,000		
ユニット型実績	28,868,213	30,289,946	29,089,409	29,925,970	27,489,875	25,692,859	171,356,272		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	合計	
従来型予算	15,269,000	15,200,000	15,269,000	15,269,000	14,254,000	15,269,000	90,530,000	181,937,000	
従来型実績	15,284,345	15,012,783	14,508,372	14,612,732	14,364,381	15,323,394	89,106,007	177,312,274	△ 4,624,726
ユニット型予算	32,698,000	32,508,000	32,698,000	32,508,000	31,057,000	32,508,000	193,977,000	389,595,000	
ユニット型実績	27,956,040	26,734,276	26,832,225	26,118,263	27,055,995	29,857,717	164,554,516	335,910,788	△ 53,684,212

四、総括

令和5年度従来型特養の予算達成出来ず。予算に対して、△円

令和5年度ユニット型特養の予算達成出来ず。予算に対して、△円

理由として、退居数に対する新規入居者数が対応出来ず、減収の大きな要因となった。

総括、特養として予算達成が出来なかった。令和5年度には、早期に定員数になるべく、入居者の選定対応を早急に実施していきたい。また、介護サービスについては、具体的目標をクリアーしていきます。

一、 基本方針

- 1、利用者様への介護サービスの質の向上 ※特にレクリエーションの習慣化
- 2、利用者様の日常生活動作の維持及び向上
- 3、困難ケースに対する柔軟な対応及び新規利用者獲得

二、 具体的目標

- 1、介護サービスの更なる向上を実施し、利用者様に喜んでいただきます。特にレクリエーションの習慣化に努める次第です。また、個々の知識・技術の向上にも努め、資格取得を目指します。苑内・苑外の研修にも積極的に参加し、様々な知識・技術の吸収を図ります。

目標結果⇒目標達成出来ず。特にレクリエーションの提供がもう一步の状況。利用者様に喜んで頂けるよう、介護サービス提供に努めたい。その為に令和6年度、配置転換を実施した。楽しむショートステイへ変化する様、職員との協議をしていきたい。

- 2、長期施設生活を考慮し、施設内でも日常生活動作の維持向上に努めます。特に「歩く」「動く」「移動する」をキーワードに計画に実施を行っていきます。

目標結果⇒デイサービスのようなプログラム化は出来ず。プログラム化が課題である。しかし、午前中にラジオ体操・カラオケ・歩行訓練等の動きが始まってきた。

- 3、家族様の立場になって考え、より良い短期入所の利用方法を共に模索していきます。特に困難ケースと称する利用者の受け入れを関係部門と連携を強化し、対応していきます。また、新規利用者をリピーター利用者になるように関係各位と連携します。

目標結果⇒迅速なサービス提供が出来た。令和6年度も実施して行きたい。

三、 令和5年度 収入実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期	単位(円)	
従来型SS予算	5,428,000	5,610,000	5,428,000	5,610,000	5,428,000	5,610,000	33,114,000		
従来型SS実績	6,115,051	6,189,870	6,678,021	6,516,600	6,252,771	5,847,702	37,600,015		
令和4年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期	合計	9,473,256
従来型SS予算	5,610,000	5,428,000	5,610,000	5,610,000	5,106,000	5,610,000	32,974,000	66,088,000	
従来型SS実績	6,398,285	6,636,483	6,514,433	5,689,927	5,835,659	6,886,454	37,961,241	75,561,256	

四、 総括

予算達成する事が出来た。▲。令和6年度も予算達成をすべく、職員と共に頑張りたい。今後は、具体的目標達成が課題である。選ばれるショートステイになるべく、具体的目標達成を目指したい。特にサービスの向上・新規利用者獲得が注視したい。

令和5年度 よっかいち諧朋苑デイサービス事業報告

令和5年度のデイサービスご利用者は、延べ7,189名（平均599.1人/月）でした。1日平均23.2人（前年度比 延べ人数1人減、平均利用者数増減なし）。事業収入は60,239千円で、前年度比3,476千円の増収でした。

コロナが緩和され増収を見込みましたが、

基準緩和通所型サービス（サービスA）は、延べ462名（平均38.5人/月）のお客様にご利用いただきました。1日平均は4.9人、事業収入は1,474千円でした。（前年度比 ほぼ横ばい）

取り組みとしては、積極的に新規利用者を受け入れるべく、引き続き他事業所居宅への訪問と、柔軟なサービス提供時間の提供、送迎可能エリアの拡大などニーズに応じた対応を行ってまいりました。また、月行事やイベントを安全に配慮しながら徐々に再開していくことで、さらに「楽しいデイサービス」を実現できつつあると実感しました。

□利用者人数

デイサービス・総合事業通所型・基準緩和通所型サービスA								
	延べ人数				1日平均			
	R5年度	R4年度	前年比	サービスA	R5年度	R4年度	前年比	サービスA
4月	614	672	-58	26	24.6	26.1	-1.5	3.7
5月	643	697	-54	26	23.8	26.8	-3.0	3.7
6月	620	693	-73	44	23.8	26.7	-2.9	4.9
7月	604	433	171	43	23.2	16.7	6.5	5.4
8月	629	578	51	47	23.3	21.4	1.9	4.7
9月	628	612	16	44	24.2	23.5	0.7	5.5
10月	582	683	-101	42	22.4	26.3	-3.9	5.3
11月	571	650	-79	42	22	25	-3.0	5.3
12月	580	554	26	46	22.3	21.3	1.0	5.8
1月	535	484	51	13	22.3	20.2	2.1	1.9
2月	583	520	63	48	23.3	21.7	1.6	6.9
3月	600	614	-14	41	23.1	22.7	0.4	5.1
合計	7,189	7,190	-1	462	23.2	23.2	0.0	4.9

令和5年度 通所リハビリテーションかがやき 事業報告

令和5年度の通所リハビリテーションかがやきの利用者は延べ7,738名で、1日平均利用者数は26.2名（前年度比延べ人数1,342名増加、1日平均利用者数4.5名増加）で、事業収入は69,371千円で、前年度比12,818千円の増収であった。コロナから盛り返したイメージであった。

訪問リハビリの利用者は延べ165名、1日平均利用者数0.6名（前年度比127名減少、1日平均利用者数0.4名減少）で、事業収入は1,034千円で前年度比847千円の減収であった。理学療法士の退職による事業所都合の縮小が一つの要因となった。

<具体的取り組みについて>

- ① サービスの質、体制作り等現状維持
- ② 職員のスキルアップ、研修機会をあまり無かった。
- ③ 他事業所との連係による積極的な利用者の獲得

新規利用者の受け入れについては通所には地区内外の利用者ニーズがあり比較的受入れもしやすかった。訪問についてはPTの補充、配置がうまくいかずニーズのあるお客様に迷惑をかけてしまった。

[通所リハビリ収入実績]

単位(千円)

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
R4年度	4,534	4,279	4,572	4,332	4,281	4,261	26,259	
R5年度	5,660	5,651	5,994	5,857	5,807	5,937	34,906	
前年度比	1,126	1,372	1,422	1,525	1,526	1,676	8,647	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間合計
R4年度	4,625	4,925	5,182	4,665	5,110	5,787	30,294	56,553
R5年度	6,072	5,488	6,057	5,307	5,555	5,986	34,465	69,371
前年度比	1,447	563	875	642	445	199	4,171	12,818

[訪問リハビリ収入実績]

単位(千円)

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計	
R4年度	205	199	154	141	117	160	976	
R5年度	114	179	139	103	140	122	797	
前年度比	-91	-20	-15	-38	23	-38	-179	
下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	年間合計
R4年度	189	160	154	134	147	121	905	1,881
R5年度	122	115	0	0	0	0	237	1,034
前年度比	-67	-45	-154	-134	-147	-121	-668	-847

令和5年度 よっかいち諧朋苑居宅介護支援サービス 事業報告

令和5年度は4名体制でスタートしましたが、4月に1名退職し、すぐに1名入職するも、9月末で2名（1名は退職・1名は異動）抜けて、令和6年2月末までは2名+在介・居宅兼務1名（0.2換算）体制となりました。

令和5年10月～令和6年2月までは2.2名体制で160人前後のお客様を担当し、規定よりオーバーしたので減算となっています。

令和6年度からは再度4名+在介・居宅兼務1名の体制でスタートしますが、特養併設の役割を担いながら、医療機関・地域包括支援センター・在宅介護支援センター等からの相談にできる限り対応できるようつとめていきます。

（件数について）

・令和5年度は介護支援専門員4名体制で1ヵ月170件（要介護100件・要支援70件）という目標を設定していましたが、年度途中で職員の退職等あり、目標に対しては平均158件（要介護96件・要支援62件）と未達でした。

（予算について）

・令和5年度の月平均収入は1,605,321円/月でした。（目標は1,750,000円/月）
目標対比は91.7%。

※令和5年4月・9月と職員の退職等あり、4名体制が確保できず、最終的に目標が未達でした。

（居宅としての具体的な取り組み）

1ー研修会や勉強会等への参加

○地域包括支援センター主催の勉強会や介護・医療連携センターつなぐが主催する研修会に参加したり、他の居宅介護支援事業所と共同での勉強会を開催したりすることでそれぞれの職員のスキルアップをはかりましたが、年度途中から人員不足等あり、研修会に参加できなかったのが実情です。今後もあらゆるケースに対応できるようできる限り研修会や勉強会に参加して、知識を深め、業務に活かしていけるよう準備していきます。

2-お客様を獲得するための営業について

○四日市市北地域包括支援センターより主に下野地区に住んでいる要支援の方を紹介していただき、受託したり、要支援から要介護に認定が変更された方の相談にも対応いたしました。令和5年度は四日市市中地域包括支援センターからも委託をうけましたが、今後東員町や菰野町から受託できるよう準備してまいります。

下野地区だけでなく、保々や八郷地区からも受託できるようにします。

○市立四日市病院や四日市羽津医療センター・みたき総合病院等医療機関に入院している方の退院支援の相談対応をおこない、今後も継続的に受け入れができるよう対応します。

○職員の退職が続くまでは医療機関地域連携室の相談員と介護支援専門員の意見交換会にもできる限り出席していましたが、令和6年度からは人員体制が整うのでできる限り出席し、顔のみえる関係づくりをおこなうようつとめていきます。合わせて四日市市や桑名市の医療機関の地域連携室にも定期的に訪問し、情報交換等おこないましたが、今後も各職員がそれぞれ情報交換・情報収集につとめていきます。

○利用者数

上半期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
要介護（人）	97	91	91	93	103	102
要支援（人）	64	62	62	65	65	60
合計（人）	161	153	153	158	168	162

下半期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護	101	98	95	92	94	97	96
要支援	60	61	62	64	62	62	62
合計	161	159	157	156	156	159	158（人）

令和5年度 諧朋苑下野在宅介護支援センター 事業報告書

新型コロナウイルスの5類移行に伴って徐々に地域行事も活動も再開する流れになってきましたが、引き続きコロナ罹患には予防対策を強化して対応する流れとなってきました。地域からの相談依頼が多くなってきましたが職員の入れ替え等があり迷惑をかけてしまったところもあった。来年度は、地域行事等もコロナ前に戻って行くと思いますので、行事参加等、各関係機関等と協力・連携し、一人でも多くの方が地域で安心して生活できるように、住みやすい地域づくりに貢献していきたいと思っております。

(具体的施策について)

- 1、 介護予防普及啓発事業（しもの・はつらつ健康塾）
今年度はフルに開催（12回）出来ましたが、参加者0人の為報告できない回数が4回あり、コロナ後の対策の必要性も感じた。楽寿会の会合の席で話をさせていただく機会がありました。
- 2、 認知症対策や福祉知識の講座開催
認知症サポーター養成講座（計1回）を開催しました。
- 3、 地域ケア会議の開催
3月に開催予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により各関係者に書面通達し意見をいただく形で行いました。運営協議会も同じく書面通達としました。

相談件数は、前年度と比較し、高齢者の要支援・介護認定を始め、増加傾向にある状態です。地域ニーズは、下野・生き域ネット・民生委員等との情報共有・連携がうまくできている状態です。